



KONICA MINOLTA

News Release

コニカミノルタの3製品と2施設が 2022年度グッドデザイン賞を受賞

2022年10月7日

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：大幸 利充、以下 コニカミノルタ）は、以下の3製品と2施設が公益財団法人日本デザイン振興会主催 2022年度グッドデザイン賞を受賞したことを発表いたします。



**GOOD DESIGN
AWARD 2022**

【受賞製品および施設】

- ・ハンディ型ガス漏えい検査システム
- ・高速デジタルラベル印刷機「AccurioLabel 400」
- ・カセット型デジタルX線撮影装置「AeroDR swift」
- ・プラネタリウムドームシアター「満天 NAGOYA」「プラネタリア YOKOHAMA」

【受賞デザインの評価ポイント】

< ハンディ型ガス漏えい検査システム >

～ガス漏えいを見える化しプラントの安定操業に貢献～



■デザインのポイント

高い可搬性と自由な撮影スタイルで、見えないガスの可視化・最適な保全を実現し、漏えい個所の早期発見と現場担当者の安全に寄与するデザイン。

■審査委員の評価(公式評価コメント)

本製品の対象となるガスプラントなどのインフラ設備では、少子高齢化なども伴い、今後継続的なメンテナンスが社会的な課題になると考えられる。本製品は人間の目には見えないガスを可視化するテクノロジーを、持ち運び

できるカメラ型のデバイスとしてデザインしている。それによって、さまざまな現場で利用でき、またカメラを通して実際の設備の映像に見えないガスを定量データと共に重畳表示でき、クラウド連携なども含めて熟練を要せず直感的で精度の高い検査を可能にしている。

< 高速デジタルラベル印刷機「AccurioLabel 400」 >

～印刷工程の自動化でオペレーションを効率化～



■デザインのポイント

専門ライセンス不要の操作性や色補正自動化技術により、スキルレス化とダウンタイムの削減を実現するデザイン。

■審査委員の評価(公式評価コメント)

商業用印刷機のフラグシップモデルのデザインを踏襲することで、前機種から印刷クオリティーへ

の大幅な期待と絶対的な信頼性を打ち出した。操作の自動化等で専門スキルを必要としないアクセシビリティに長けたすばらしい製品に仕上がっている。両サイドに配置された大きなラベル収納部は、従来の収納型から大幅に変わりダイナミックな外へのせり出しにより、産業機器等では表現の難しい軽快な印象を創る事に成功している。機器の価格を抑えながら白色での印刷を実現させ、表現の幅を大きく変える進化を弛みなく行う姿勢にも敬意を示したい。

< カセット型デジタルX線撮影装置「AeroDR swift」 >

～ハンドリング性向上で医療従事者の負担軽減に貢献～



■デザインのポイント

ハンドリングにこだわり全周に施した握みやすいくぼみ形状とフィルム基板TFT採用による超軽量設計により、X線撮影技師の疲労を軽減するデザイン。

■審査委員の評価(公式評価コメント)

中が精密機器であるDRカセットは一刻を争う医療の現場で荒く使われるリスクがある道具。全周に回った指かけの溝は、取り回しや落下防止に効果的で、

作業者の精神的ストレスと肉体的負荷を軽減し作業効率を上げることに貢献する。抗菌剤を練り込んだ素材の外装は、手から伝わる感触においても視覚的にも高い質感があり、モノとしての魅力を醸し出している。

< プラネタリウムドームシアター「満天NAGOYA」「プラネタリアYOKOHAMA」 >

～日本初のLEDドームシステム「DYNAVISION®-LED」を導入～



■デザインのポイント

LEDドームというテクノロジーと、その特性を最大限活かしたコンテンツによる、今までに無い顧客体験のデザイン

■審査委員の評価(公式評価コメント)

ドームに投影する映像表現はこれまでもあったが、自発光する高輝度LEDという最新のテクノロジーを使うことで、これまでにない没入感を得られる体験を生み出している。またその映像のクオリティの高

さゆえ、SNSで客にその映像を発信してもらう仕掛けを作品のなかに盛り込むという演出も可能に。技術革新によって、エンターテインメントの手法が日々刷新されているが、その好例として評価。

【 受賞商品の特長 】

< ハンディ型ガス漏えい検査システム >

赤外線を利用した高度な光学技術と最新の画像処理技術で炭化水素系ガスを“見える化”し、発見困難なガス漏れ箇所の特定や煩雑なデータの記録管理を支援する「ガス監視ソリューション」のコンパクトモデルで、検査機能をこの1台に収めています。パソコンやモニターに接続することなく検査を行えるため、どこにでもすぐに持ち運ぶことができ、日常点検や災害時の初期スクリーニングの効率化に役立ちます。

◆商品情報 :

<https://www.konicaminolta.com/jp-ja/gas/products/index.html>

< 高速デジタルラベル印刷機「AccurioLabel 400」 >

デジタルラベル印刷機「AccurioLabel シリーズ」初のハイエンド機で最上位機種にあたり、高速プリントと連続印刷長の延長、工程の自動化により、ハイボリューム領域でも他に例を見ないオペレーションの効率化を実現しています。これにより、印刷現場におけるタイムロス最小化だけでなく、オペレーターの育成期間の大幅短縮をサポートします。また、コニカミノルタ初の白色トナーの導入により、デジタルラベル印刷の付加価値向上に寄与します。

◆商品情報 :

<https://www.konicaminolta.com/jp-ja/newsroom/2022/0601-01-01.html>

< カセット型デジタルX線撮影装置「AeroDR swift」 >

ベッドサイド、手術室、X線撮影室内など様々な医療現場の撮影で活用されているカセット型デジタルX線撮影装置に、コニカミノルタ初の薄型フィルム基板を採用し、バッテリーを含む重量で1.9kgという軽さを実現しています。また、カセット裏面の全周に深さ4mmのくぼみを設け、さらに掴みやすいデザインになり、軽量化とあわせてX線撮影作業の効率化と医療従事者や患者への負担軽減に寄与します。

◆商品情報 :

<https://www.konicaminolta.com/jp-ja/newsroom/2022/0310-01-01.html>

< プラネタリウムドームシアター「満天NAGOYA」「プラネタリアYOKOHAMA」 >

「コニカミノルタプラネタリウム満天NAGOYA」、「コニカミノルタプラネタリアYOKOHAMA」は、スクリーン上に自発光のLED素子を配置した、日本初のLEDドームシステムによるプラネタリウムです。これまでの投映方式をはるかにしのぐ高輝度、広色域を実現し、奥行きが感じられることで没入感が増し、今までにない臨場感と美しい星空を体験することができます。

◆施設情報 :

<https://planetarium.konicaminolta.jp/manten-nagoya/>

<https://planetarium.konicaminolta.jp/planetariayokohama/>

◆商品情報 :

<https://www.konicaminolta.jp/planetarium/hard/dynavision-led/dynavision-led/index.html>

■グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、様々な展開される事象の中から「よいデザイン」を選び、顕彰することを通じ、私たちの暮らしを、産業を、そして社会全体を、より豊かなものへと導くことを目的とした公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「総合的なデザインの推奨制度」です。

その母体となったのは、1957年に通商産業省(現経済産業省)によって創設された「グッドデザイン商品選定制度(通称Gマーク制度)」であり、以来60年以上にわたって実施されています。

----- 報道関係お問い合わせ先 -----

コニカミノルタ株式会社 広報部
担当：坂本 和歌子 070-7537-2891
北 陽子 070-3669-8853